

一般社団法人merry attic 2026年度 事業計画書

1. 基本方針

2026年度(2026年4月1日～2027年3月31日)は、設立10年の節目として、これまで積み重ねてきた現場の支えを深めながら、子育てを社会全体で支える仕組みと空気をつくる活動を広げる1年と位置づけます。

ミッション:子育て社会を、頼れる空気感で満たしていく。

私たちが目指すこと:困難が世代を超えて連鎖する前に、こどもから親まで寄り添い、誰もが気軽に頼れる、安心できる居場所を地域につくる。

本年度は、拠点数を増やすこと自体を目標とはしません。乳幼児期の親子のひろば、学童期の学童クラブ、家庭が揺らいだときの子どもショートステイ、思春期の中高生の居場所という一連の支えを、一人ひとりの人生に寄り添う「線」としてつなげることに注力します。あわせて、現場で生まれた仕組みを制度として社会に広げていきます。

2. 重点目標

本年度は次の4つを重点目標とします。

1. 独立型子どもショートステイの制度化に向けた働きかけ 京都市・葛飾区・中野区での実証運営の成果を整理して発信します。そのうえで、独立型の施設でも継続して運営できる公的施策の整備を、行政や関係者に働きかけます。
2. 中高生の居場所づくりのモデル化 児童育成支援拠点事業として運営する中高生の居場所を、全国で参考にされるモデルケースとして育てます。実践の知見をまとめ、同じ取り組みを行う自治体を増やすための発信を行います。
3. 応援の輪の拡大 設立10周年の機会を生かし、地域の方、企業、行政、寄付者とのつながりを広げます。マンスリーサポーターを中心とした継続的な支援者を増やし、寄付による財源を育てます。
4. 組織基盤の強化 財務基盤の強化と、経営を担う人材の育成に取り組めます。また、こども性暴力防止法にもとづく制度への対応など、子どもの安全を守る体制を整えます。

3. 事業別計画

(1)学童クラブ・放課後子ども教室

実施地域:埼玉県戸田市、東京都杉並区、沖縄県那覇市・浦添市 ほか

放課後の子どもたちが安心して過ごし、遊びや人との関わりの中で育つ場を運営します。休眠預金活用事業で取り組んだ「インクルーシブな学童」の成果をまとめ、障害の有無などにかかわらず共に過ごせる運営を、ほかの拠点にも広げていきます。あわせて、支援員の研修を充実させ、保育の質の向上を図ります。

(2)親子のひろば

実施地域:京都市

乳幼児とその保護者が気軽に立ち寄れる場を運営します。子育ての悩みを話したり、ほかの家庭とつながったりできる「最初の頼り先」として、孤立しがちな子育て期の家庭を支えます。

(3)子どもショートステイ

実施地域:京都府京都市、東京都葛飾区・中野区

保護者の病気や出産、育児疲れなどで一時的に家庭での養育が難しくなったときに、子どもを数日間お預かりします。児童養護施設などに併設しない独立型の運営を続け、夜間対応を含む受け入れ体制を安定させます。利用者の声や実績を整理し、制度化に向けた提言の根拠として活用します。

(4)中高生の居場所づくり(児童育成支援拠点事業)

実施地域:杉並区

家庭や学校に居場所を感じにくい中高生が、信頼できる大人と出会い、安心して過ごせる拠点を運営します。現場スタッフとともに実践を言語化し、全国のモデルケースとして発信できる形にまとめます。

(5)子ども食堂

実施地域:埼玉県戸田市(毎月最終日曜日)

地域の方々やボランティアと連携し、食を通じて子どもと家庭が地域とつながる場を開きます。

(6)広報・普及啓発・政策提言

- ・ 設立10周年記念イベントを開催し、子育てを社会全体で支える必要性を広く発信します
- ・ 2025年度アニュアルレポートを発行し、活動の成果を支援者に報告します
- ・ 企業向けの講演や協働プログラムを通じて、社会課題への理解と参加を広げます
- ・ ウェブサイト、メールマガジン、SNSなどで定期的に活動を発信します
- ・ 子どもショートステイや中高生の居場所について、行政や関係機関への政策提言を行います

4. 法人運営・組織基盤

130名を超えるスタッフが安心して働き続けられる組織をつくり、支援の質を高めていきます。

- ・ ファンドレイジング:マンスリーサポーター制度を中心に個人寄付を広げます。あわせて、企業・財団との協働や助成金の活用によって、財源を多様にします
- ・ 人材育成:マネージャー向けの労務研修を継続し、次の世代の経営を担う人材を育てます
- ・ 子どもの安全を守る体制:こども性暴力防止法にもとづく制度の開始に向けて、採用時の確認や研修、相談体制などを整えます
- ・ 働きやすい職場づくり:ハラスメント相談窓口を適切に運用し、職員が相談しやすい環境を保ちます
- ・ 情報管理・業務効率化:個人情報保護とセキュリティの対策を強化します。あわせて、学童クラブ運営へのICTシステム導入を検討します

- 情報公開:事業報告や決算をウェブサイトやCANPANで公開し、透明性の高い運営を行います
- 会議体:理事会・社員総会を定款に従って開催します